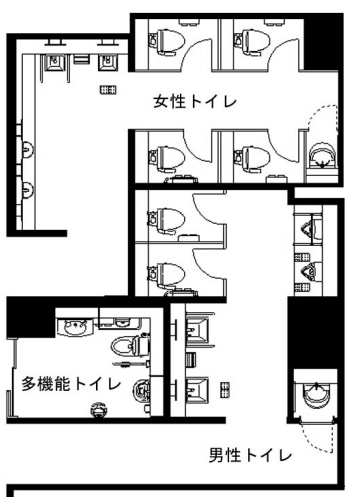


外観

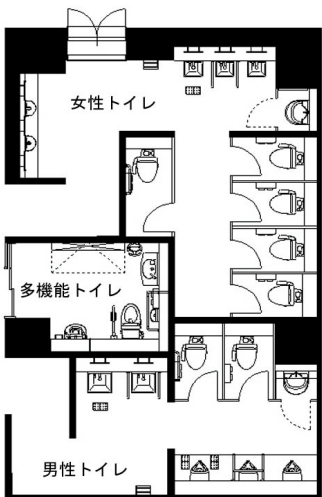


京都の歴史文化をフィールドとした住宅街にあり、紫野キャンパス内の最南に位置する。

1F トイレ図面



2F トイレ図面



2F 女性トイレ パウダーコーナー



カウンター下の棚と手洗器上面の棚に、大・小の荷物を置くことができ、コンセントも整備。手洗器上面の棚には、化粧品の落下防止のための立ち上がりを設けている。

1F トイレ入口



男女トイレの入口には、それぞれ赤、紺の縦ラインをサインとしてデザイン。また、多機能トイレの扉には、トイレの機能がひと目でわかるピクトグラムを表示している。

1F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



左側は手洗いもできるパウダーコーナー。カウンターの下にダストボックスと荷物配慮の棚を設置している。空調設備も整備。

2F 女性トイレ 全体



防犯面やプライバシーに配慮し、大便器ブースの間仕切りを天井まで立ち上げている。さらに、緊急時には外側から取り外しができる扉を標準設置している。

2F 大便器ブース



すべての大便器に音姫（擬音装置）搭載のウォシュレットを設置。またブース内喫煙による火災の防災対策として、警報装置（炎感知）を全ブースに標準設置している。

1F 男性トイレ 全体



木目調の落ち着いた雰囲気の内装。大便器ブースの間仕切りを、天井まで立ち上げることで個室感を高めている。

1F 多機能トイレ



多機能トイレを各階に設置。フロアごとに左右勝手や設置器具を変え、バリエーションを持たせることで、さまざまな方のニーズに対応できるようにしている。

2F 男性トイレ 小便器コーナー



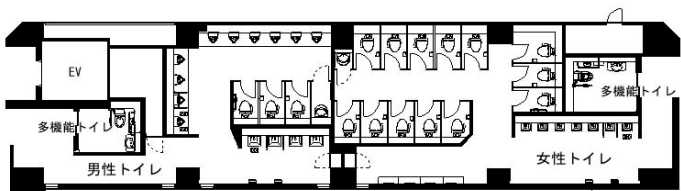
荷物配慮として、小便器上には棚を設け、さらに小便器の間にフックも設置。

2F 多機能トイレ



ベビーチェア、オストメイト対応トイレバック、収納式多目的シートなどを完備している。

3F トイレ図面

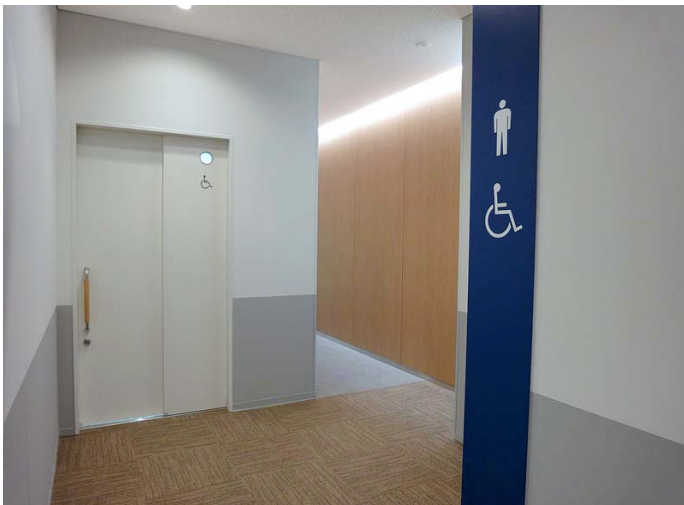


3F 女性トイレ 入口



左右どちら側からでも女性トイレが識別できるように、赤の縦ラインのサインを入口の両側に表示している。

3F 男性トイレ 入口



多機能トイレの右側が男性トイレの入口。男性トイレには間接照明が導いてくれる。

3F 男性トイレ 洗面コーナー



体格の大きな男子学生が使用しやすいよう、女性トイレよりもひと回り大きいタイプの壁掛ハイバック洗面器を採用。

3F 女性トイレ 洗面コーナー



大便器ブースのウェーティングスペースとして活用できるように、洗面コーナー前の通路を広めに確保している。左奥はパウダーコーナー。

3F 女性トイレ パウダーコーナー



間接照明とブラケット照明の組み合わせで、顔映りが良く、快適に身繕いができる。

3F 男性トイレ 小便器コーナー



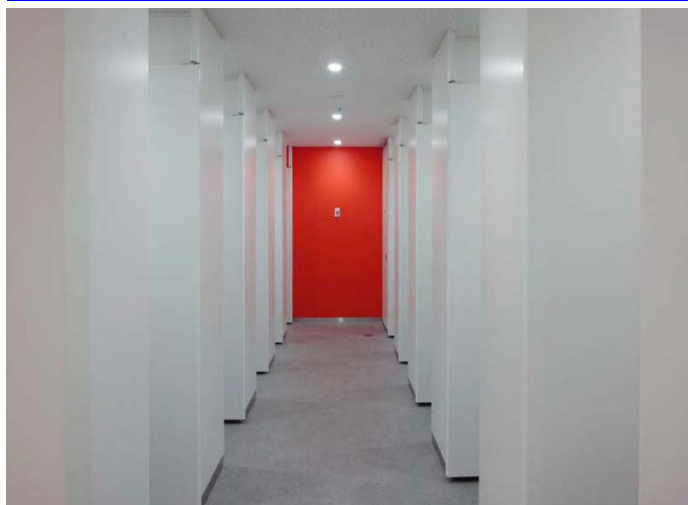
L字形に配置した小便器コーナー。突き当たりのオレンジ色の壁が空間のアクセントになっている。

3F 多機能トイレ



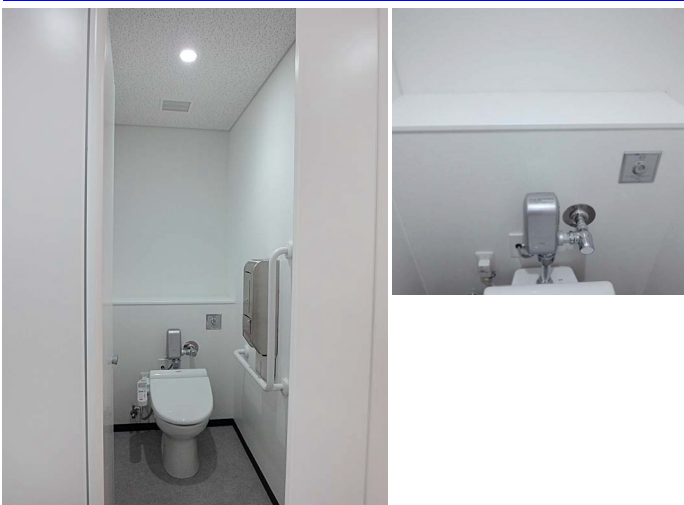
車いす使用者が、大便器へのアプローチ、移乗、手洗いなど、一連の行為をスムーズにできるようにレイアウトしている。

3F 女性トイレ 大便器コーナー



清潔感のあるホワイトを基調とした中に、オレンジ色の壁が印象的な空間。大便器ブースの照明には、人感センサー式のLEDを採用。

3F 女性トイレ 大便器ブース



大きな荷物が置けるように、ライニングの奥行きを300mmに設定。また使用中に何度も水を流さないように、洗浄ボタンを背面に設置し、音姫（擬音装置）搭載のウォシュレットも設置している。

建築概要

名 称	佛教大学 紫野(むらさきの)キャンパス 1号館(1期A棟)
所 在 地	京都市北区紫野花ノ坊町96
施 主	学校法人 佛教教育学園 佛教大学
設 計	株式会社 佐藤総合計画
施 工	鹿島・北和 共同企業体
竣工年月	2011年6月(1期部分)

水まわりの特長

<建物の特徴>
 2012年の開学100周年記念事業の一環として、紫野キャンパスの整備を2008年度から6ヶ年計画で進めている。教育環境を向上させ、「身と心を癒すキャンパス」の実現を目指す。今回は第1期工事として9号館を取り壊し、新棟として生まれ変わった。

<トイレの特長>
 トイレは学生が息抜きできる大切な場所と考え、居心地がよく機能性に優れた「居室」及び、新しい「コミュニケーションの場」「集いの場」として位置づけられ、新棟の工事の中でも、トイレ空間の検討に最も時間を割き、関係者で十分な議論を重ねた。新棟は1・2階が事務室フロア、3～5階が教室フロアとなっている。学生が好みの「myトイレ」を見つけられるように、トイレの内装はフロアごとにイメージを変えて設定。そこでリラックスした時間を過ごせるように考えられている。照明は人感センサー式のLEDを採用。また、何度も水を流さなくても済むように、すべての大便器に音姫（擬音装置）搭載のウォシュレットを設置するなど、環境にも配慮している。